

## 図面リスト

[illegible]







	2)レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※改修標準仕様書表5.9.2による

引き戸用検出装置性能

※改修標準仕様書表5.9.3による

種類 ○光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ

タッチスイッチの種類

・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便房スイッチの種類

・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ

戸の開閉方式

※建具表による ・防錆 ・適用する ・適用しない

凍結防止措置 ・適用する ・適用しない

性能等 ※改修標準仕様書表5.10.1による

（試験方法）

(1) 耐久性（開閉繰り返し）試験

閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。

(2) 耐衝撃性試験

落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。

耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。

(3) 気密性能試験

JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

【5.10.3】

[illegible]





⑨ その他	フリーアクセスフロア	<table><tr><td>構造</td><td>・ 置数式</td><td>・ 支柱調整式</td></tr><tr><td>所定荷重</td><td>※ 3,000N ・ 5,000N</td><td>※ 3,000N ・ 5,000N</td></tr><tr><td>耐震性能</td><td>・ 1.0G ・ 0.6G</td><td>・ 1.0G ・ 0.6G</td></tr><tr><td>パネル寸法 (mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>高さ (mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>表面仕上材</td><td>※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル</td><td>※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>※ 図示</td><td>※ 図示</td></tr></table> <p>寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(a)～(c)による</p> <p>スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示</p> <p>配線取り出しパネル フリーアクセスフロア全面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20～30パーセント</p> <p>配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による ・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口 1箇所以上</p> <p>空調用吹き出し（吸い込み）パネル ・ なし ・ あり（形式、施工箇所：※ 図示 ・ ）</p> <p>（性能） （１）耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 （２）耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと （３）ローリングロード性能 所定荷重1,000N（5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意）による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 （４）耐震性能</p> <p>イ）固定台試験による耐震性能</p> <table><tr><td>項目</td><td>性能</td></tr><tr><td>①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td><td>水平荷重の1/2が下記のご適用地震時水平力&gt;以上</td></tr><tr><td>②上記①以外の部分が耐力に達したとき</td><td>水平荷重の1/1.5が下記のご適用地震時水平力&gt;以上</td></tr><tr><td>③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td><td>構造床面からの高さの1/50以下</td></tr></table> <p>&lt;適用地震時水平力&gt; 3,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [ (m2当り自重+3,000N) /m2当りの支柱本数] ×0.6 3,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [ (m2当り自重+3,000N) /m2当りの支柱本数] ×1.0 5,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [ (m2当り自重+5,000N) /m2当りの支柱本数] ×0.6 5,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [ (m2当り自重+5,000N) /m2当りの支柱本数] ×1.0</p> <p>ロ）振動台試験による耐震性能（設計床高≤300mmの場合のみ） 振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。</p> <p>（５）耐燃焼性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒</p> <p>（６）帯電防止性能評価値（U） 0.6以上</p> <p>（７）感電防止性能 漏えい抵抗(R) ≥1 ×10<sup>6</sup> Ω</p> <p>（８）歩行感 通常の歩行において空音響やがたつきがなく、歩行感に違和感がない</p> <p>（９）メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。</p> <p>（試験方法） （１）耐震性能 １）設計床高≤300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N：200kg 5000N：350kg 加振 0.6G：所定加速度600cm/S<sup>2</sup> 1.0G：所定加速度1000cm/S<sup>2</sup> 2）300mm&lt;設計床高≤600mmの場合 ①固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法－１又は、試験方法－２による。 ロ、原則として、試験方法－１はパネル単体設置（Ａタイプ）に適用し、試験方法－２はパネル連結設置（Ｂタイプ）に適用するものとする。 ②試験方法－１ イ、試験は、コンクリート（JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類：N300）に接着した支柱の頂部にに対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、３個とする。 ③試験方法－２ イ、試験は、コンクリート（JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類：N300）に接着した数ユニットの支柱の頂部にに対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱１本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N（3,000N／1m<sup>2</sup>相当）を１箇所設ける。試験体数は、１セットとする。 ④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。</p> <p>３）共通事項 試験に使用する表面仕上材 種類：タイルカーベット バイル携帯：ルーパバイル バイル長：3.0mm～4.0mm 全厚：6.0mm～7.0mm 人体耐電圧：2KV以下 繊維素材：ナイロン100％</p>	構造	・ 置数式	・ 支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G	パネル寸法 (mm)			高さ (mm)			表面仕上材	※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル	※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル	施工箇所	※ 図示	※ 図示	項目	性能	①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記のご適用地震時水平力>以上	②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記のご適用地震時水平力>以上	③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下	表示	案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示	（２０．２．１１）	床点検口	<table><tr><td>材質</td><td>寸法 (mm)</td><td>形式</td><td>備考</td></tr><tr><td>・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td><td>・ 450×450 ※ 600×600 ・</td><td>・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用</td><td>・ 鍵付き</td></tr></table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。</p> <p>（品質・性能）</p> <table><tr><td>部材名</td><td>材質</td><td>屋内外用</td><td>屋内用</td></tr><tr><td>受枠材 蓋枠材</td><td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 ステンレス製</td><td>JIS H 4100のA6063S－T5 （表面処理）JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 （表面処理）HL又は2B仕上げ程度</td><td>JIS G 4305のSUS430 （表面処理）HL又は2B仕上げ程度</td></tr><tr><td>鋼製</td><td>－</td><td>－</td><td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td></tr></table> <p>二重蓋の中蓋 鋳鉄 JIS G 5501のFC150、FC200 その他 塩化ビニル樹脂製等</p> <p>目地材 黄銅 JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604 ステンレス JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</p> <p>底板材コーナーステンレス鋼板 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304 アルミニウム板 JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B) 鋼材 ー</p>	材質	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 ステンレス製	JIS H 4100のA6063S－T5 （表面処理）JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 （表面処理）HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 （表面処理）HL又は2B仕上げ程度	鋼製	－	－	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	JIS G 4305のSUS430 JIS G 4305のSUS430	ー	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
構造	・ 置数式	・ 支柱調整式																																																									
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N																																																									
耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G																																																									
パネル寸法 (mm)																																																											
高さ (mm)																																																											
表面仕上材	※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル	※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル																																																									
施工箇所	※ 図示	※ 図示																																																									
項目	性能																																																										
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記のご適用地震時水平力>以上																																																										
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記のご適用地震時水平力>以上																																																										
③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																										
材質	寸法 (mm)	形式	備考																																																								
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き																																																								
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																								
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 ステンレス製	JIS H 4100のA6063S－T5 （表面処理）JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 （表面処理）HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 （表面処理）HL又は2B仕上げ程度																																																								
鋼製	－	－	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																								

パッキン材 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの

アンカー材 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの

取手 黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等  
ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする

鍵 黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする  
施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする

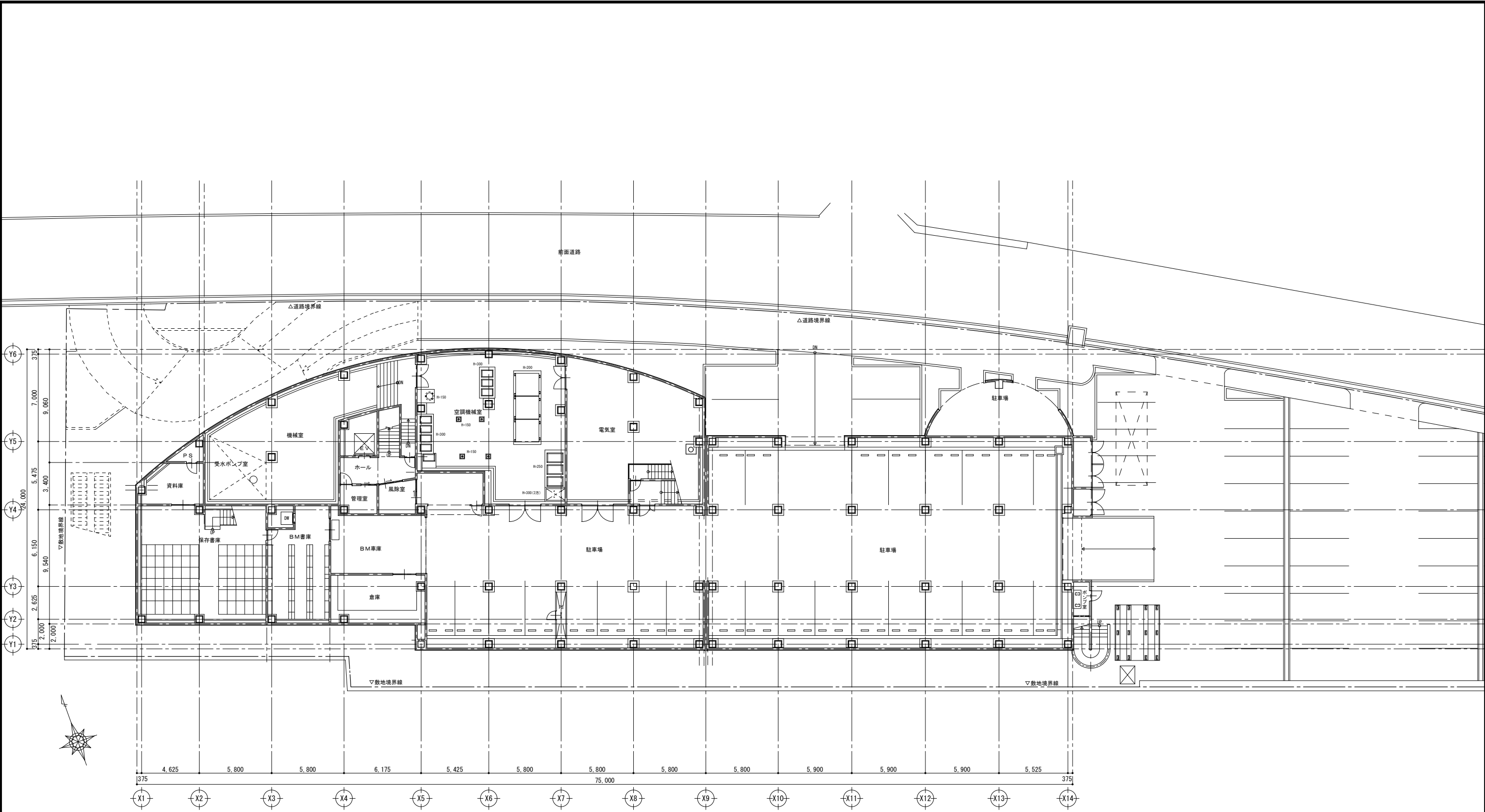
蓋の耐荷重性能 蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。  
受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。  
破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。

受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下  
蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下  
受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内  
（試験方法）  
耐荷重試験  
試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。  
試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。  
本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。  
本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する（終局荷重）まで加圧する。  
測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。

 手すり | |              |                 |           |      | |--------------|-----------------|-----------|------| | 材質           | 表面仕上げ           | 直径 (mm)   | 取付箇所 | | ・ 集成材        | ・ クリアラッカー       | ・ 35 ・ 45 | ・    | | ・ ステンレスパイプ   | ・ H L程度         | ・         | ・    | | ・ 鋼製パイプ      | ・ S O P ・ E P－G | ・         | ・    | | ・ ビニル製ハンドレール | ・               | ・         | ・    | | 天井見切り縁等 | 壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材質 ※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品 | 視覚障害者用床タイル （視覚障害者誘導用ブロック） | |      |  |   |                   | |------|--|---|-------------------| | 施工箇所 | 種類   | 寸法 (mm)                                   | 厚さ (mm)           | | 屋内   | ・ 塩化ビニル製<br>・ セラミックタイル [G]<br>・ レジコンクリート製<br>・ コンクリート製 | ※ 300×300 ・<br>※ 300×300 ・<br>※ 300×300 ・ | ・ 7.0 ・<br>・<br>・ | | 屋外   | ・ セラミックタイル [G]<br>・ レジコンクリート製<br>・ コンクリート製             | ※ 300×300 ・<br>※ 300×300 ・                | ・<br>・<br>・       |   突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による | 鉄筋 | 8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（５．２．１）（表５．２．１） 種類の記号 呼び名 備考 ※ S D 2 9 5 ※ D 1 6 以下 ※ S D 3 4 5 ※ D 1 9 以上 | 溶接金網 | 8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（５．２．２） 種類 網目寸法、鉄線の径 (mm) 備考 ※ 溶接金網 ・ 鉄筋椅子 | 鉄筋の継手及び定着 | 8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（５．３．４） 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継手の長さ ※ |

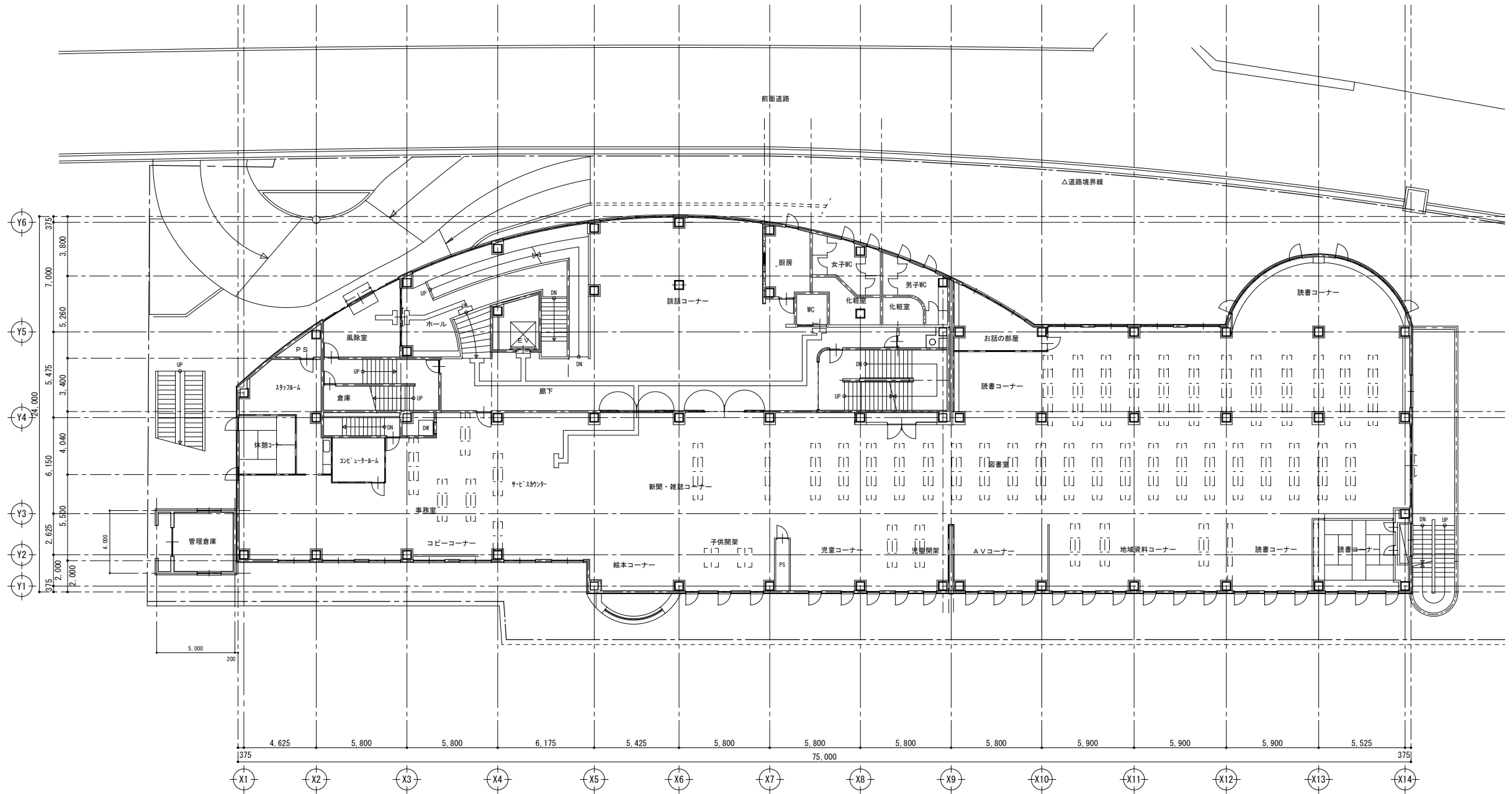








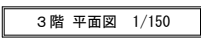
															1階 平面図 1/150										
御注文先		御承認				記事		年 月 日		<div>CEC</div> 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL:082(2)5015001		建設コンサルタント登録 第378号 1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293085号 藤 本 誠 二		1級建築士登録 第 262345 号 坂 本 直		校閲		<div>原 本</div>		工事名称 生涯学習センター空調設備改修その他工事		図面番号 A-09			
																設計		<div>原 本</div>		設計年月日 2024.03		図面名称 1階 平面図(既存図)		縮 尺 1/150	

※A2: 70.7%縮小 A3: 50%縮小

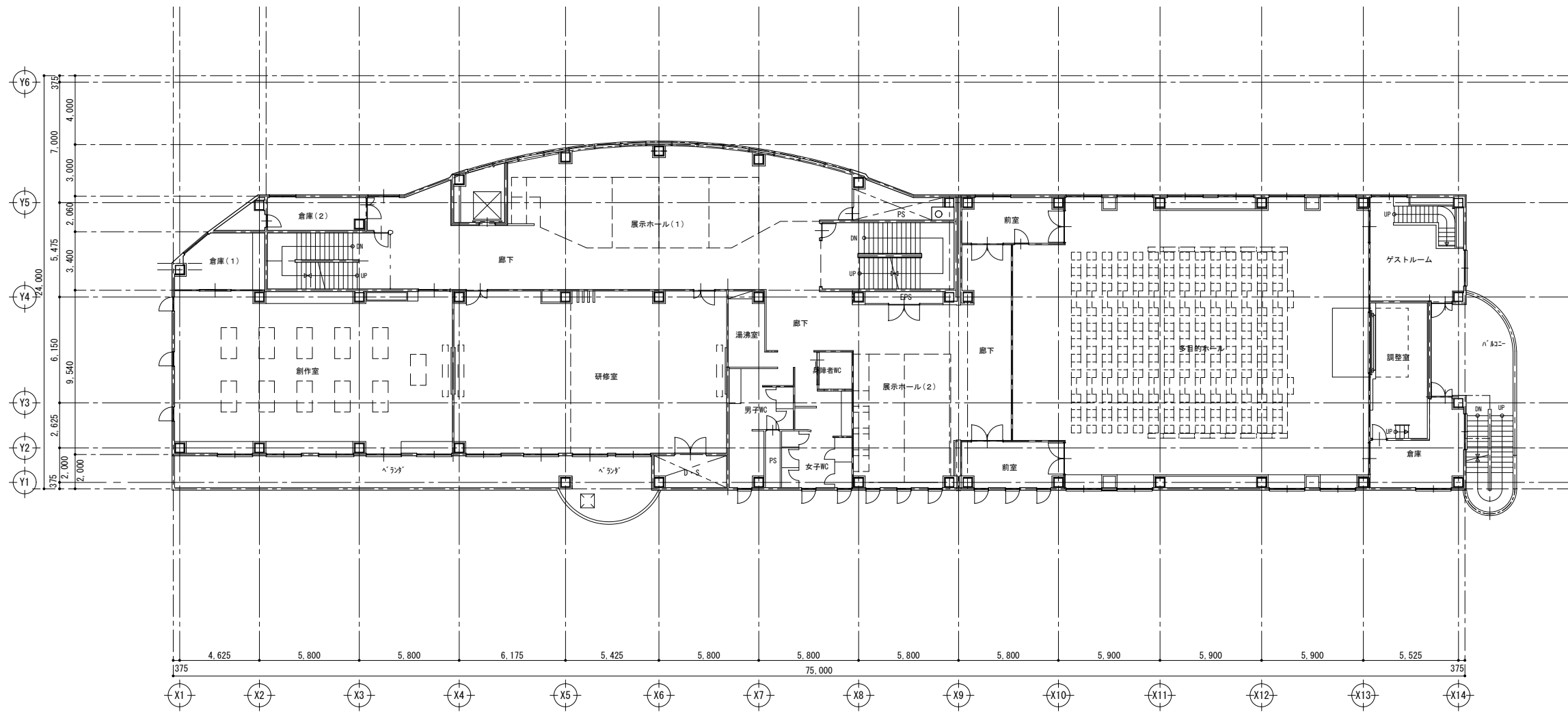


2階 平面図 1/150




御 注 文 先	御 承 認	記 事	年 月 日	 中 電 技 術 コ ン サ ル タ ン ト 株 式 有 限 公 司 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL:082(2)5015501	建設コンサルタント登録 第378号 1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293083号 藤 本 誠 二	校 長 印 設計		工事名称 生涯学習センター空調設備改修その他工事	図面番号 A-10
		設計年月日 2024.03		図面名称 2階 平面図 (既存図)		縮 尺 1/150			



※A2: 70.7% 縮小    A3: 50% 縮小

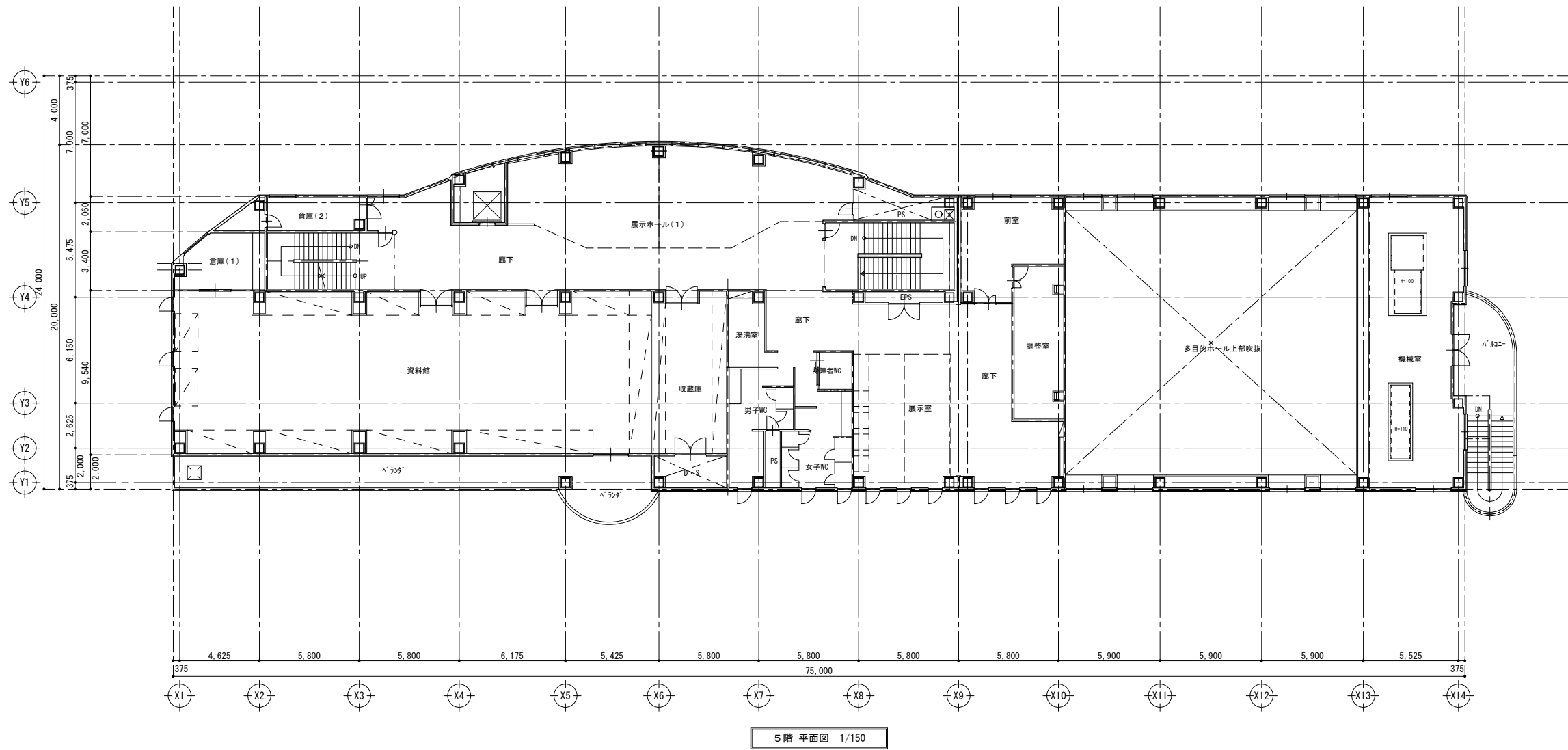


4階 平面図 1/150




御注文先		御承認		記 事	年月日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL:082(255)5501	建設コンサルタント登録 第26 第378号 1級建築士事務所 登録21(1)第1252号 1級建築士登録 第293085号 藤本 誠二	校 関  設計	  	設計年月日 2024.03	工事名称 生涯学習センター空調設備改修その他工事	図面番号 A-12
												図面名称 4階 平面図 (既存図) 縮尺 1/150

※A2: 70.7%縮小 A3: 50%縮小

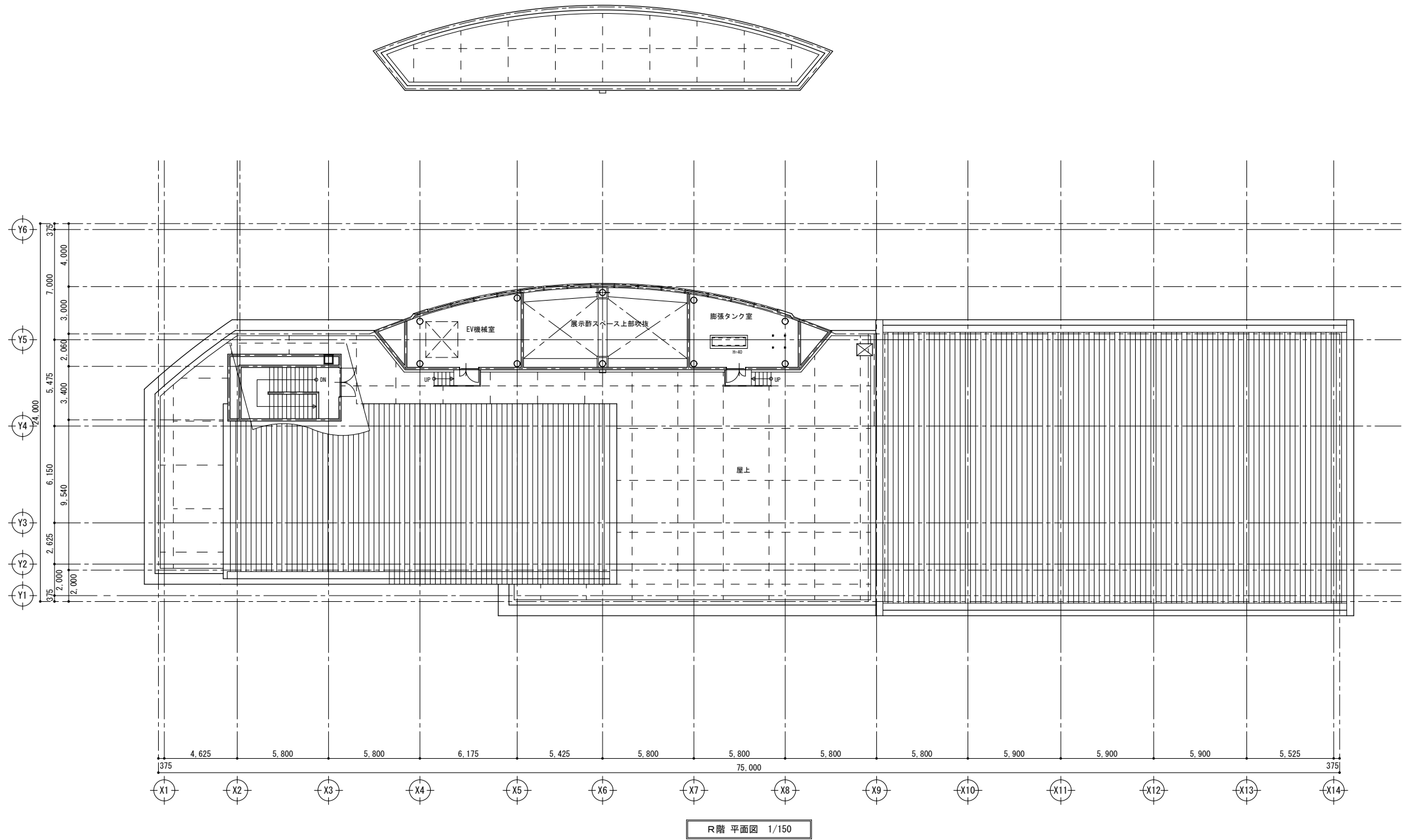




5階 平面図 1/150

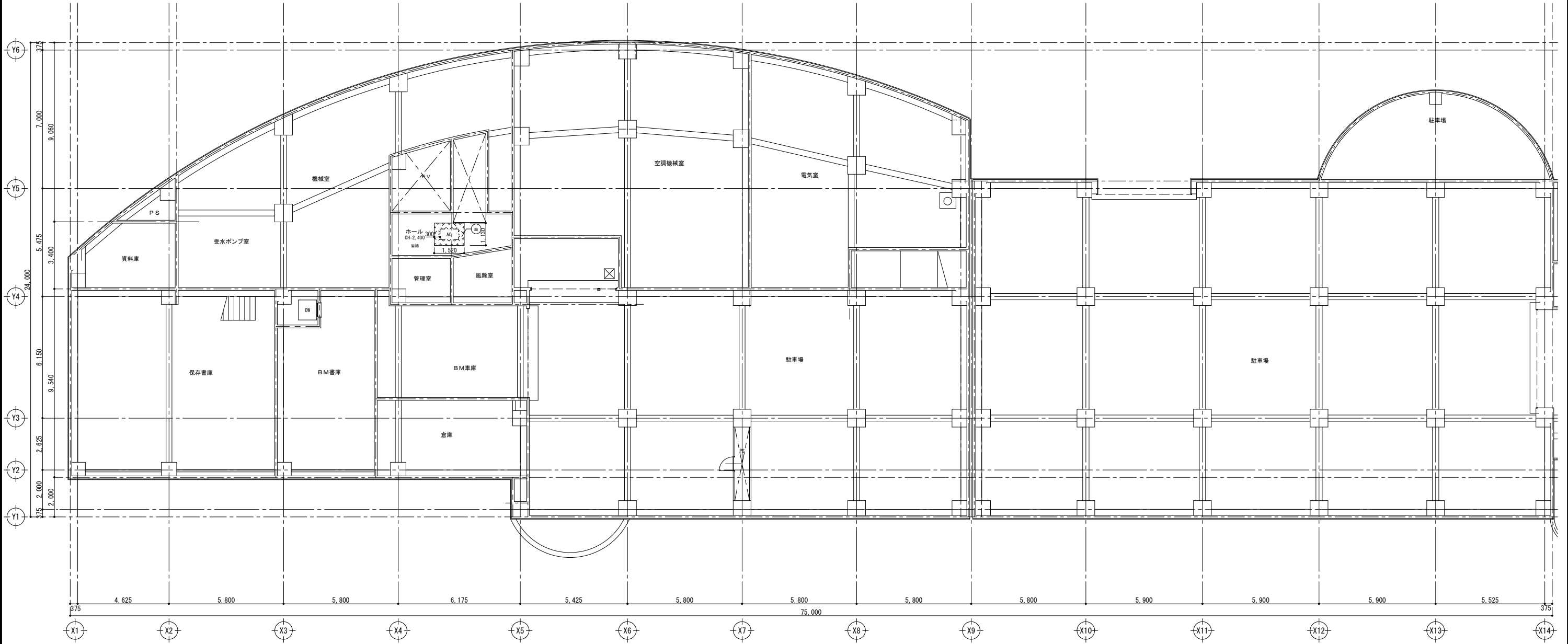
御注文先	御承認	記事	年月日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL 082(2)5515501	建設コンサルタント登録 第26号 1級建築士事務所 登録21(1)第1252号 1級建築士登録 第29385号 藤本 誠二	校閲  設計 	設計年月日 2024.03	工事名称 生涯学習センター空調設備改修その他工事 図面名称 5階 平面図 (既存図)	図面番号 A-13 縮尺 1/150

※A2: 70.7%縮小 A3: 50%縮小



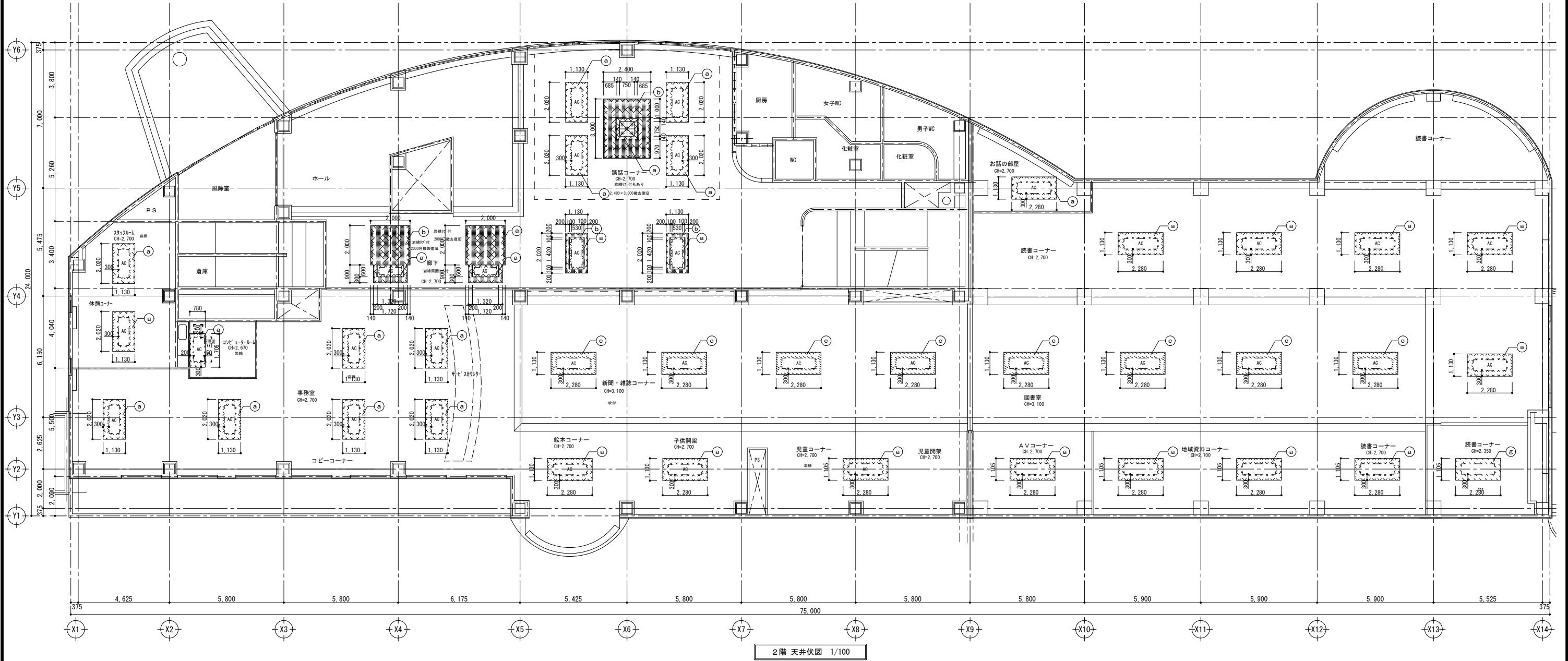
御注文先	御承認	記事	年月日	<div>中電技術コンサルタント株式会社</div> <div>広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL:082(255)5501</div>	<div>建設コンサルタント登録 第378号</div> <div>1級建築士事務所 登録21(1)第1252号</div> <div>1級建築士登録 第29385号</div> <div>藤本 誠二</div>	<div>1級建築士登録 第262345号</div> <div>坂本 直</div>	校閲 設計	<div>原</div> <div>坂本</div>	設計年月日 2024.03	工事名称 生涯学習センター空調設備改修その他工事	図面番号 A-14

※A2: 70.7%縮小 A3: 50%縮小



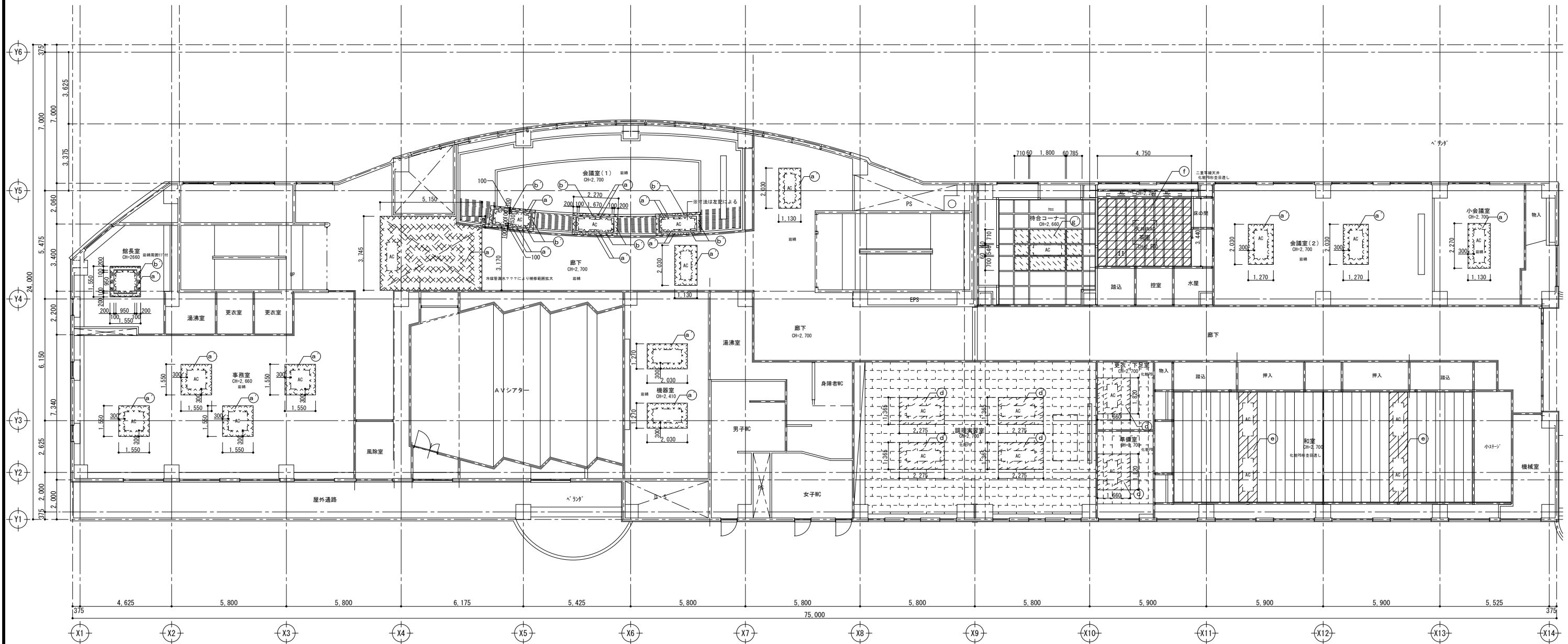
1階 天井伏図 1/100

仕 上 表		改 修 前	改 修 後	特 記 事 項
記 号	仕 上			
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 空調機取替に伴う天井撤去範囲は最小限とし範囲等含む現地協議による。 ※ 天井軽鉄下地撤去にあたり支障のある範囲を除き吊木等再利用とする。 ※ 天井撤去にあたり改修部周囲 1 m程度床養生(37合板+養生シート等)を考慮する。 ※ 天井撤去にあたり通路他必要所にコーン等設置を考慮する。 ※ 石膏板・ド、化粧石膏板・ドは、72x60が含有しているものとして、処分を行う事。 ※ 天井点検口位置にあたっては現地にて調整の事。
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
c		天井：石膏板・ド t=9(不燃)の上へ・A2x吹付(石綿含有なし) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド t=9.5(不燃)の上内装薄塗塗材E吹付 (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
d		天井：化粧石膏板・ド t=9(準不燃) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド t=9.5(準不燃) (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
e		天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9(準不燃) (撤去処分) (軽量鉄骨下地は在来のまま)	天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9.5(準不燃) (撤去部新設) (軽量鉄骨下地は在来再利用)	
f		天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9.5(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
g		天井：石膏板・ド t=9(不燃)の上へ・A2x吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・ド t=9.5(不燃)の上へ・A2x吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
g		天井：石膏板・ド t=9(準不燃)の上へ・A2x吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・ド t=9.5(準不燃)の上へ・A2x吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
h		天井：照明 (撤去処分) ---全て設備工事 W200×L1,000(3箇所)	天井：石膏板・ド t=9.5(準不燃)の上高密度ゲラ板・ド t=25貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
i		天井点検口：72x60製枠450角(仕上は天井と同じ) (撤去処分)	天井点検口：72x60製枠450角(仕上は天井と同じ) (撤去部新設) (開口補強共)	
		空調室内機(撤去・設備工事)	空調室内機(撤去部新設・設備工事)	



2階 天井伏図 1/100

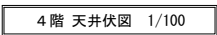
仕 上 表		改 修 前	改 修 後	特 記 事 項
記 号		仕 上	仕 上	
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・d' t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・d' t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 空調機取替に伴う天井撤去範囲は最小限とし範囲等含む現地協議による。
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・d' t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・d' t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 天井軽鉄下地撤去にあたり支障のある範囲を除き吊木等再利用とする。
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・d' t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・d' t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 天井撤去にあたり改修部周囲1m程度床養生(3ヶ合板+養生シート等)を考慮する。
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・d' t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・d' t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 天井撤去にあたり通路他必要箇所にはコーン等設置を考慮する。
c		天井：石膏板・d' t=9(不燃)の上へ・A2s吹付(石綿含有なし) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・d' t=9.5(不燃)の上内装薄塗塗材吹付 (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 石膏板・d'、化粧石膏板・d'は、7Aベントが含有しているものとして、処分を行う事。
d		天井：化粧石膏板・d' 貼りt=9(準不燃) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・d' 貼りt=9.5(準不燃) (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 天井点検口位置にあたっては現地にて調整の事。
e		天井：化粧石膏板・d' 移目通し貼りt=9(準不燃) (撤去処分) (軽量鉄骨下地は在来のまま)	天井：化粧石膏板・d' 移目通し貼りt=9.5(準不燃) (撤去部新設) (軽量鉄骨下地は在来再利用)	
f		天井：化粧石膏板・d' 移目通し貼りt=9(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・d' 移目通し貼りt=9.5(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
g		天井：石膏板・d' 貼り t=9(不燃)の上へ・A2s吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・d' 貼り t=9.5(不燃)の上へ・A2s吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
g		天井：石膏板・d' 貼り t=9(準不燃)の上へ・A2s吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・d' 貼り t=9.5(準不燃)の上へ・A2s吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
h		天井：照明 (撤去処分) ---全て設備工事 W200×L1,000(3箇所)	天井：石膏板・d' 貼り t=9.5(準不燃)の上高密度ゲージA2s・d' t=25貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
i		天井点検口：7A2規格450角(仕上は天井と同じ) (撤去処分)	天井点検口：7A2規格450角(仕上は天井と同じ) (撤去部新設) (開口補強共)	
		空調室内機 (撤去・設備工事)	空調室内機 (撤去部新設・設備工事)	



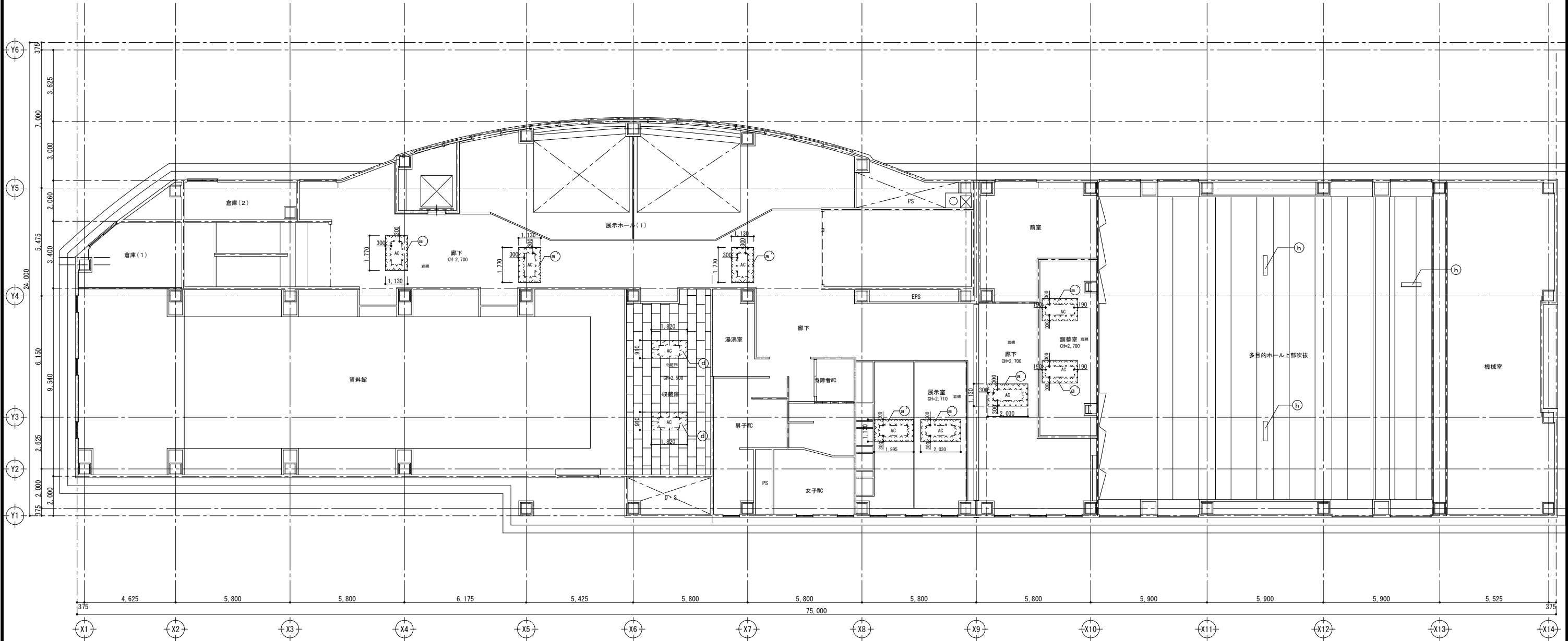
3階 天井伏図 1/100

仕 上 表		改 修 前	改 修 後	特 記 事 項
記 号		仕 上	仕 上	
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	※ 空調機取替に伴う天井撤去範囲は最小限とし範囲等含む現地協議による。
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	※ 天井軽鉄下地撤去にあたり支障のある範囲を除き吊木等再利用とする。
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	※ 天井撤去にあたり改修部周囲1m程度床養生(37合板+養生シート等)を考慮する。
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	※ 天井撤去にあたり通路他必要所にコーン等設置を考慮する。
c		天井：石膏板・ド t=9(不燃)の上へ・A2付吹付(石綿含有なし) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・ド t=9.5(不燃)の上へ・A2付吹付(石綿含有なし) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	※ 石膏板・ド、化粧石膏板・ドは、72ペストが含有しているものとして、処分を行う事。
d		天井：化粧石膏板・ド t=9(準不燃) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド t=9.5(準不燃) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	※ 天井点検口位置にあたっては現地にて調整の事。
e		天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9(準不燃) (撤去処分) (軽量鉄骨下地は在来のみ)	天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9.5(準不燃) (撤去処分) (軽量鉄骨下地は在来のみ)	
f		天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9.5(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	
g		天井：石膏板・ド t=9(不燃)の上へ・A2付吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・ド t=9.5(不燃)の上へ・A2付吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	
h		天井：石膏板・ド t=9(準不燃)の上へ・A2付吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・ド t=9.5(準不燃)の上へ・A2付吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	
i		天井：照明 (撤去処分) ---全て設備工事 W200×L1,000(3箇所)	天井：石膏板・ド t=9.5(準不燃)の上へ・A2付吹付(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	
j		天井点検口：72ペスト450角(仕上は天井と同じ) (撤去処分)	天井点検口：72ペスト450角(仕上は天井と同じ) (撤去処分)	
		空調室内機 (撤去・設備工事)	空調室内機 (撤去部新設・設備工事)	



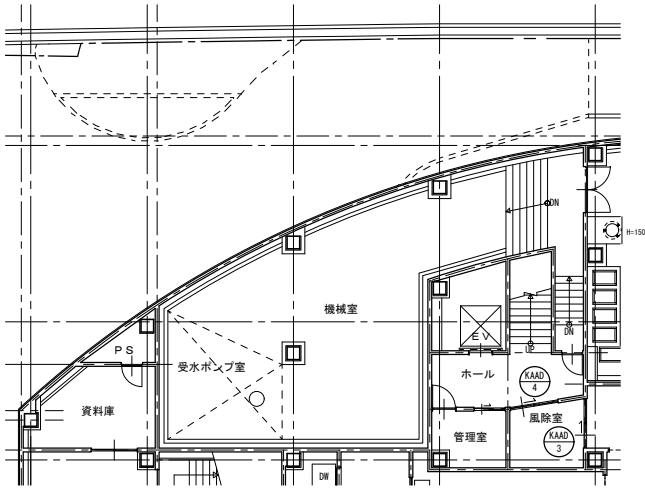


- ※ 空欄調整に伴う天井撤去範囲は最小限とし範囲等含む他協働による。
- ※ 天井軽鉄下地撤去にあたり支脚のある範囲を除き吊金等再利用とする。
- ※ 天井撤去にあたり改修部周囲 1m 程度床養生(79ヶ枠+養生シート等)を考慮する。
- ※ 天井撤去にあたり通路地必要所にコーン等設置を考慮する。
- ※ 石膏ボード、化粧石膏ボードは 7A ベットが含有しているものとして、処分を行う事。
- ※ 天井点検口位置にあたっては現地に調整の事。

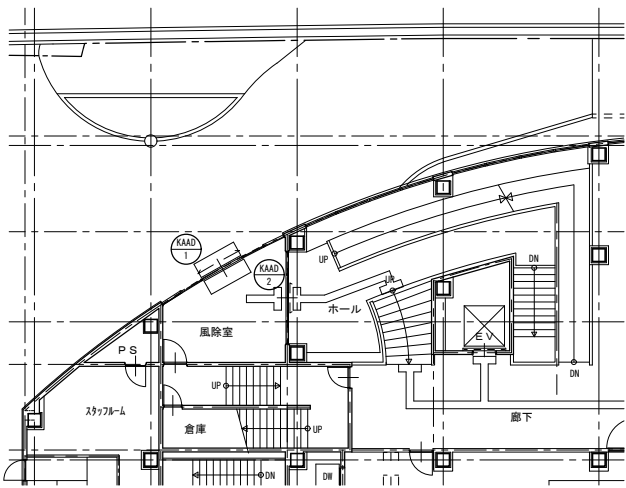


5階 天井伏図 1/100

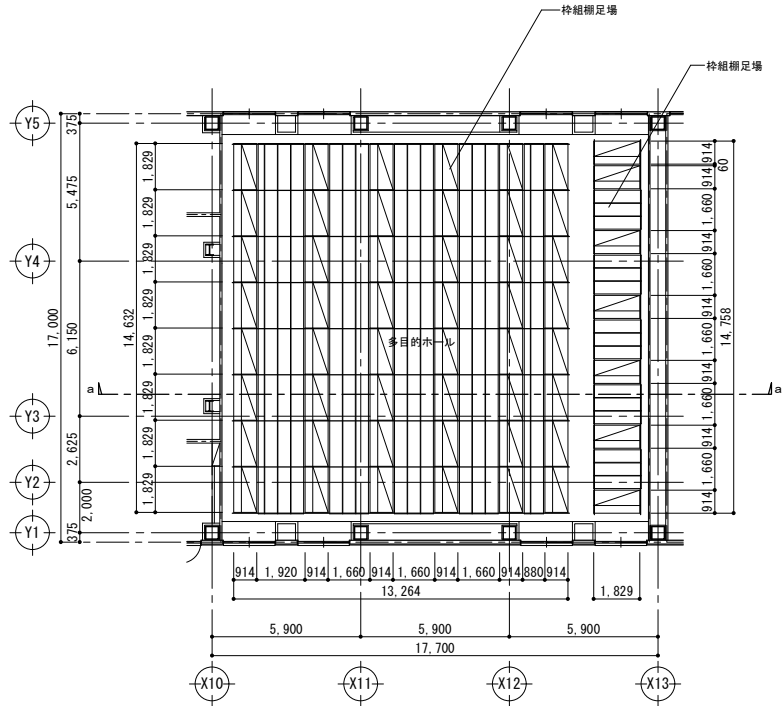
仕 上 表		改 修 前	改 修 後	特 記 事 項
記 号		仕 上	仕 上	
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	※ 空調機取替に伴う天井撤去範囲は最小限とし範囲等含む現地協議による。 ※ 天井軽鉄下地撤去にあたり支障のある範囲を除き吊木等再利用とする。 ※ 天井撤去にあたり改修部周囲 1m程度床養生(37mm合板+養生シート等)を考慮する。 ※ 天井撤去にあたり通路他必要所にコーン等設置を考慮する。 ※ 石膏板・ド、化粧石膏板・ドは、7mm以上が含有しているものとして、処分を行う事。 ※ 天井点検口位置にあたっては現地にて調整の事。
a		天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=9(不燃) 石膏板・ド t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9.5(不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
b		天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：岩綿吸音板t=19(不燃) 石膏板・ド t=9.5(準不燃)下貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
c		天井：化粧石膏板・ド t=9(不燃)の上へ・A2α吹付(石膏含有なし) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド t=9.5(不燃)の上内装薄塗塗材E吹付 (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
d		天井：化粧石膏板・ド t=9(準不燃) (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド t=9.5(準不燃) (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
e		天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9(準不燃) (撤去処分) (軽量鉄骨下地は在来のみ)	天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9.5(準不燃) (撤去部新設) (軽量鉄骨下地は在来再利用)	
f		天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：化粧石膏板・ド 移目通し貼りt=9.5(準不燃) 二重半縁 (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
g		天井：石膏板・ド t=9(不燃)の上へ・A2α(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・ド t=9.5(不燃)の上へ・A2α(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
g		天井：石膏板・ド t=9(準不燃)の上へ・A2α(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地) (全て撤去処分)	天井：石膏板・ド t=9.5(準不燃)の上へ・A2α(不燃)貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	
h		天井：照明 (撤去処分) ---全て設備工事 W200×L1,000(3箇所)	天井：石膏板・ド t=9.5(準不燃)の上高密度ゲージA2α・ド t=25貼り (軽量鉄骨天井下地共撤去部新設)	天井点検口：7mm以上が含有しているものとして、処分を行う事。 (撤去部新設) (開口補強共)
i		天井点検口：7mm以上が含有しているものとして、処分を行う事。 (撤去処分)	天井点検口：7mm以上が含有しているものとして、処分を行う事。 (撤去部新設) (開口補強共)	
		空調室内機 (撤去・設備工事)	空調室内機 (撤去部新設・設備工事)	



既存1階 建具キープラン図 1/150



既存2階 建具キープラン図 1/150



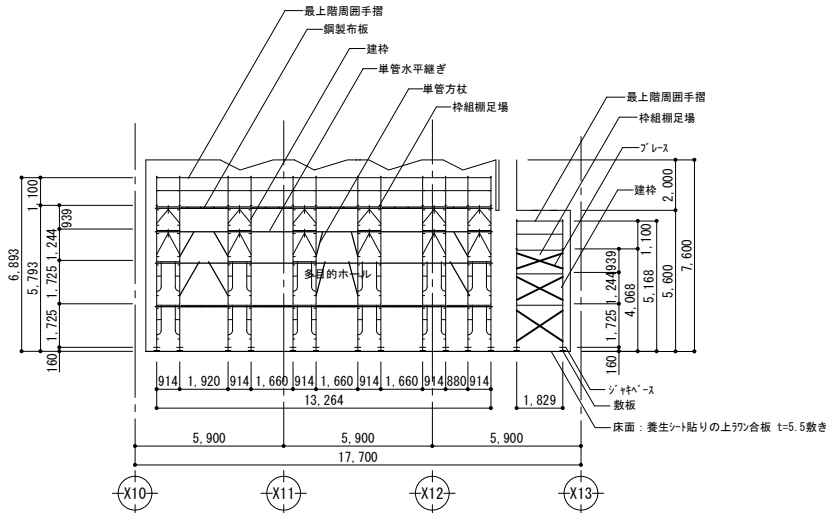
5階 平面図 1/150

既存建具表 1/100

記号	名称	数量	位置	形状	材質	見込	建具金物	仕上	補子	アンクルピース	くっずり	備考
KAAD/1	アルミ製欄間・袖FIX付自動引分扉	1	2階風除室		7A2製	100	赤外線光線スイッチ・電子制御エンジン装置、附属金物一式	B-2種	3方 (7A2製縦線)	HGFL-8.5	—	水抜穴
KAAD/2	アルミ製欄間・袖FIX付自動引分扉	1	2階ホール		7A2製	100	赤外線光線スイッチ・電子制御エンジン装置、附属金物一式	B-2種	3方 (7A2製縦線)	FL-8.5	—	水抜穴
KAAD/3	アルミ製自動片引扉	1	1階風除室		7A2製	100	赤外線光線スイッチ・電子制御エンジン装置、附属金物一式	B-2種	内外3方 (内外7A2製縦線)	FL-8	—	—
KAAD/4	アルミ製自動片引扉	1	1階ホール		7A2製	100	赤外線光線スイッチ・電子制御エンジン装置、附属金物一式	B-2種	内外3方 (内外7A2製縦線)	FL-8	—	—

特記事項

※ KAAD/1 ~ KAAD/4共工事に伴いVS型自動扉装置一式更新



a-a断面図 1/150

御注文先

御承認

記

事



中電技術コンサルタント株式会社  
広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL:082(2)5515501

建設コンサルタント登録 第378号  
1級建築士事務所 登録第21(1)第1252号  
1級建築士登録 第29385号 第2本 第2

1級建築士登録 第262345号 坂本 寛

校閲  
設計

監  
本

工事名称  
設計年月日

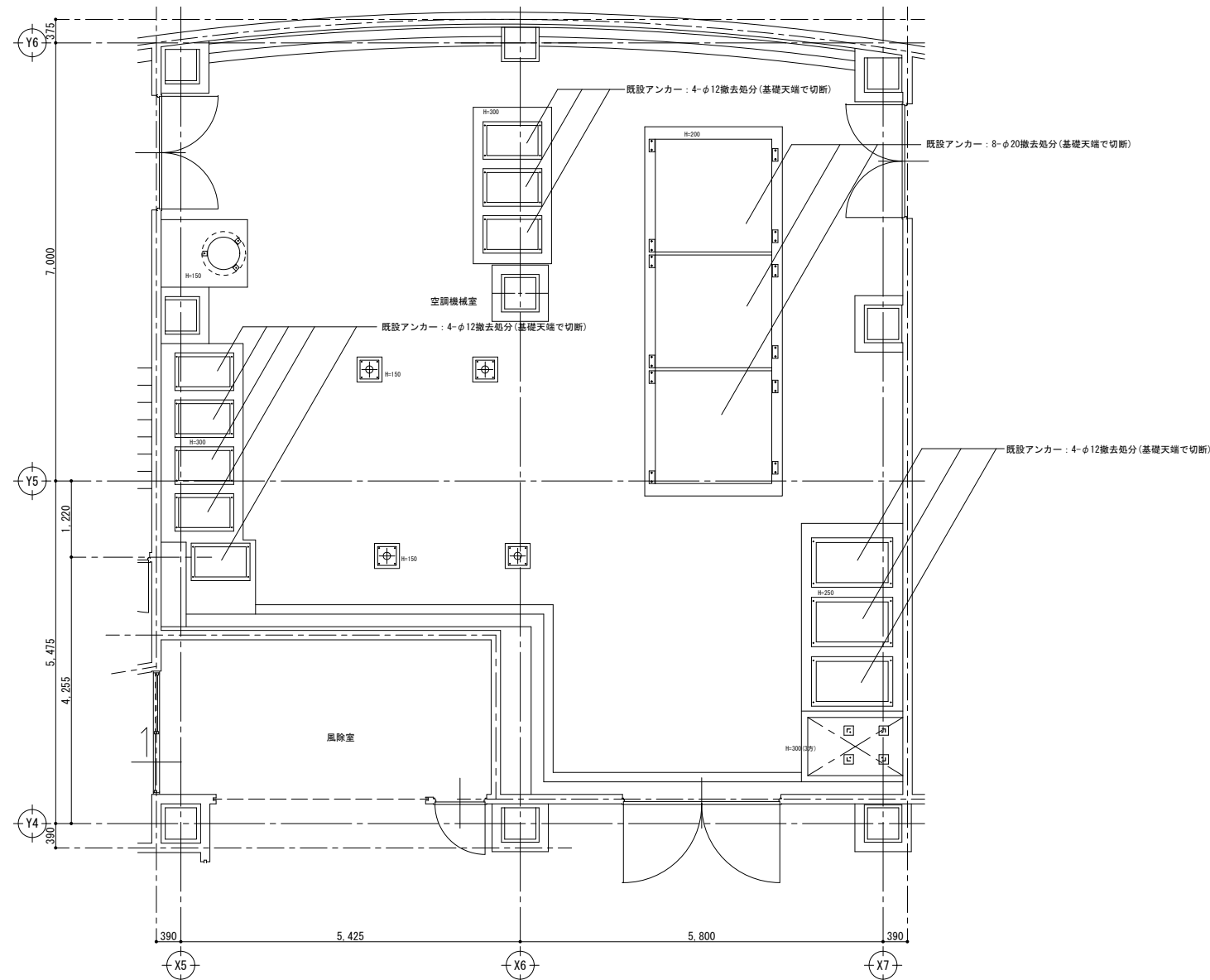
生涯学習センター空調設備改修その他工事  
2024.03

図面番号  
図面名称

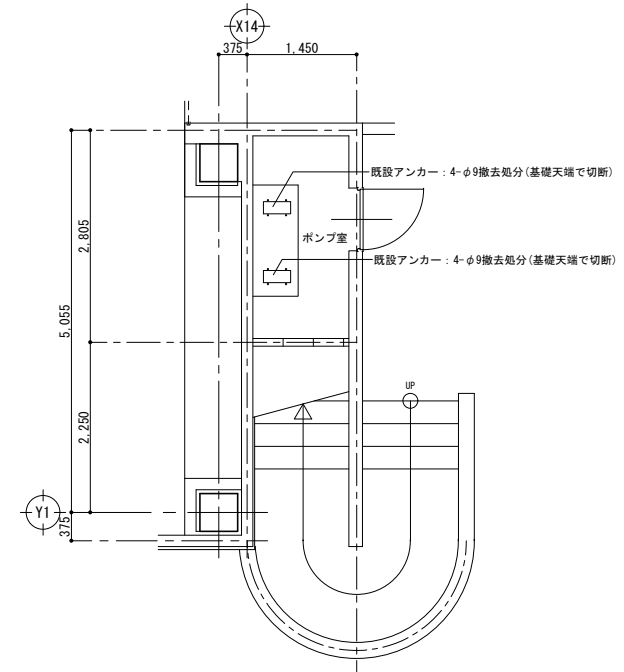
A-20  
建具キープラン図・建具表、5階多目的ホール仮設計計画図

縮尺  
1/150, 1/100

特 記 事 項
<p>1. 既設アンカーは基礎天端で切断撤去</p> <p>2. 新設機械架台のアンカーは適切な位置に設ける</p> <p>その際既設アンカーに対し新設アンカー位置は10 d以上離すものとし新設機械架台アンカー位置と整合しない場合、新設機械架台を一部改進し監督官と協議の上据付位置を決定する。</p>



特 記 事 項
1. 既設アンカーは基礎天端で切断撤去
2. 新設機械架台のアンカーは適切な位置に設ける
その際既設アンカーに対し新設アンカー位置は10d以上離すものと新設機械架台アンカー位置と整合しない場合、新設機械架台を一部改造し監督員と協議の上取付位置を決定する。



特 記 事 項
<p>1. 既設アンカーは基礎天端で切断撤去</p> <p>2. 新設機械架台のアンカーは適切な位置に設ける</p> <p>その際既設アンカーに対し新設アンカー位置は10d以上離すものとし新設機械架台アンカー位置と整合しない場合、新設機械架台を一部改造し監督官と協議の上取付位置を決定する。</p>

